

## 在宅介護実態調査結果概要について

## I 在宅介護実態調査概要

## (1) 調査目的

「青森市高齢者福祉・介護保険事業計画 第7期計画（平成30年度～平成32年度）」の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込み、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎資料とする。

## (2) 調査の実施時期

平成28年12月22日～平成29年2月10日

集計対象：3月1日まで市に到着したもの

## (3) 調査対象者

○在宅の要支援・要介護認定を受けている方のうち、要介護等認定有効期間が平成29年2月末及び3月末の更新申請対象者 1,996名

※回答者数は、国が示すサンプル数である600名を確保する

## (4) 実施方法

○郵送配布、郵送回収

更新申請対象者に対する要介護等認定有効期間の「お知らせ」を送付する際に、調査票及び返信用封筒を同封

○郵送未回収者に対する訪問調査

## (5) 在宅介護実態調査票の構成

○調査対象者ご本人様用（A票）及び主な介護者様用（B票）で構成

## ■ A票

- |                           |                   |                |
|---------------------------|-------------------|----------------|
| ①世帯類型                     | ②家族等による介護の頻度      | ③主な介護者の本人との関係  |
| ④主な介護者の性別                 | ⑤主な介護者の年齢         | ⑥主な介護者が行っている介護 |
| ⑦介護のための離職の有無              | ⑧保険外の支援・サービスの利用状況 |                |
| ⑨在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス |                   | ⑩施設等検討の状況      |
| ⑪本人が抱えている傷病               | ⑫訪問診療の利用の有無       |                |
| ⑬介護保険サービスの利用の有無           | ⑭介護保険サービス未利用の理由   |                |

## ■ B票

- |                                |                    |
|--------------------------------|--------------------|
| ①主な介護者の勤務形態                    | ②主な介護者の方の働き方の調整の状況 |
| ③就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援 |                    |
| ④主な介護者の就労継続の可否に係る意識            |                    |
| ⑤今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 |                    |

(6) 調査件数及び回収数

調査件数（調査対象者数）	1, 996件
回収数	1, 012件
回収率	50.7%
国が示すサンプル数	600件

※上記回収数のうち、分析に当たって、設問により把握した一ヶ月以上の短期入所の継続利用者及び病院入院者を除くこととし、分析に活用する回収数は972件とした。

(7) 介護保険事業計画の策定に向けた検討項目

1	検討項目	在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討
	集計・分析の狙い	在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点から集計を行った。
2	検討項目	仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討
	集計・分析の狙い	介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行った。
3	検討項目	保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討
	集計・分析の狙い	在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行った。
4	検討項目	将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討
	集計・分析の狙い	在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行った。
5	検討項目	医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討
	集計・分析の狙い	医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行った。
6	検討項目	経済的困窮世帯の現状について
	集計・分析の狙い	経済的に困窮している世帯において、介護中心の生活により、介護事件に発展する場合もあることから、当該世帯の現状を把握するための集計を行った。

## Ⅱ 結果概要

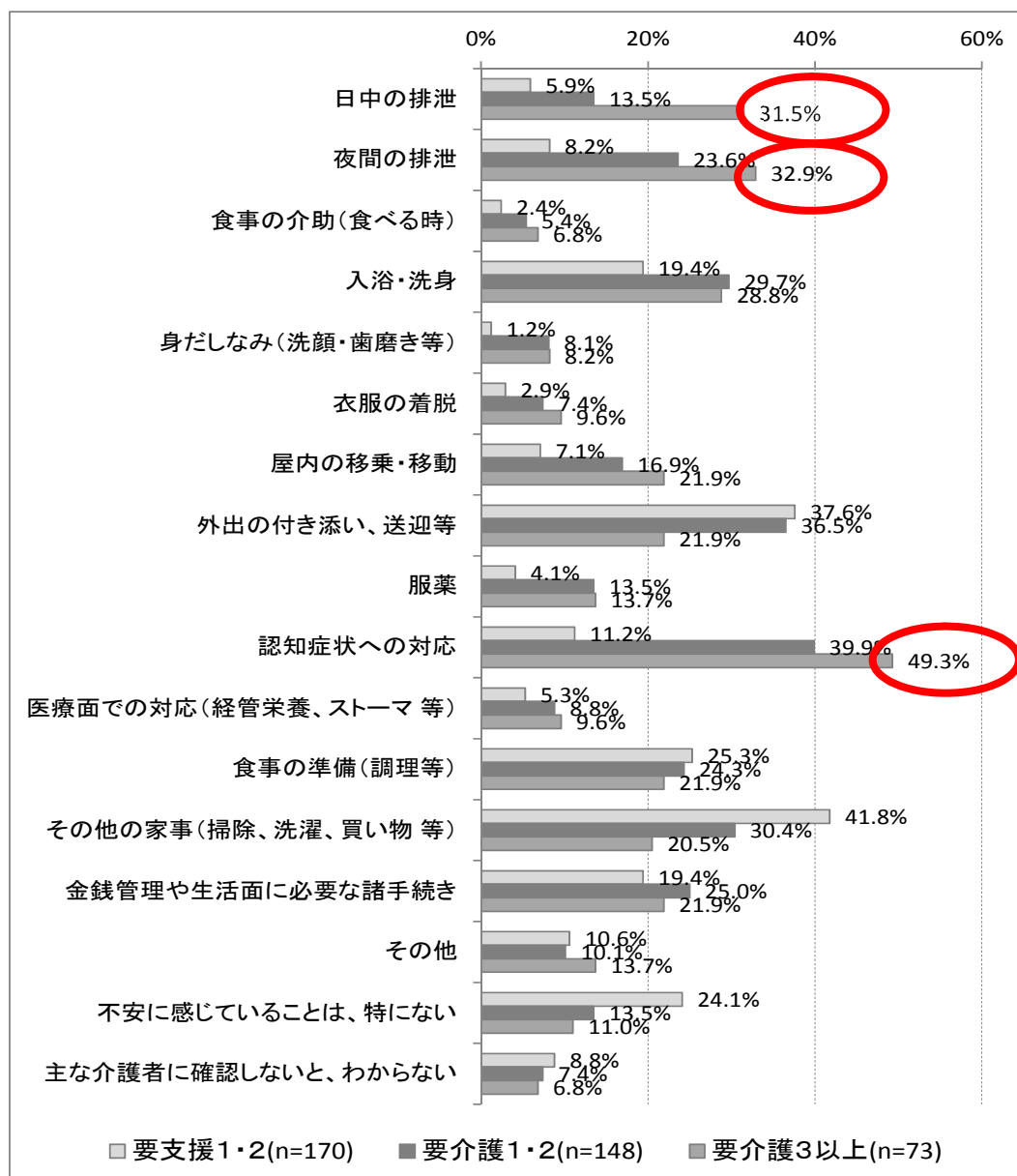
### 1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

○要介護3以上のかたの主な介護者は、

**「認知症状への対応」、「日中・夜間の排泄」に不安を感じています。**

**⇒要介護者の在宅生活を継続していくためには、これらの介護の不安を軽減していくことが重要です。**

■要介護度別・介護者が不安を感じる介護（図表1-4）（n=391）



○要介護度の重度化に伴い、

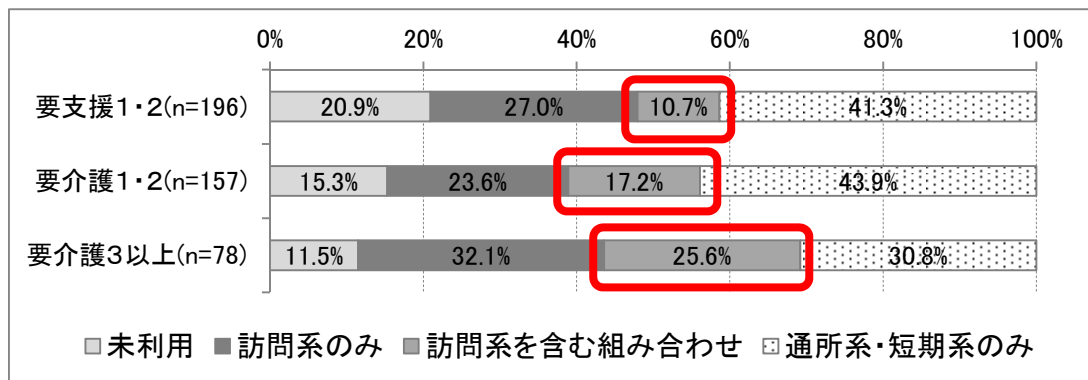
「訪問系を含む組み合わせ」の割合が増加しています。

○通所系及び短期系サービスのみの利用者は、

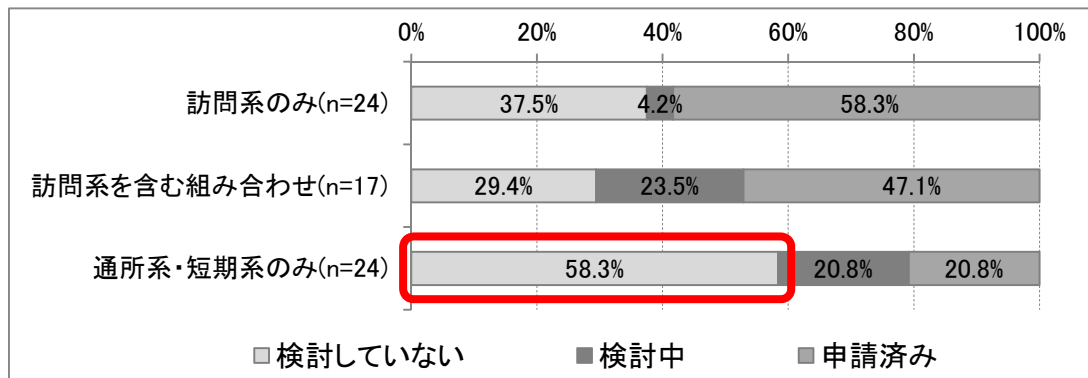
「施設等を検討していない」割合が高くなっています。

⇒要介護者の在宅生活を継続していくためには、訪問系サービスの利用を軸としながら、必要に応じて通所系・短期系サービスを組み合わせるなど、複数の支援・サービスを一体的に提供することが重要です。

■要介護度別・サービス利用の組み合わせ（図表 1-8）（n=431）



■サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）（図表 1-10）（n=65）

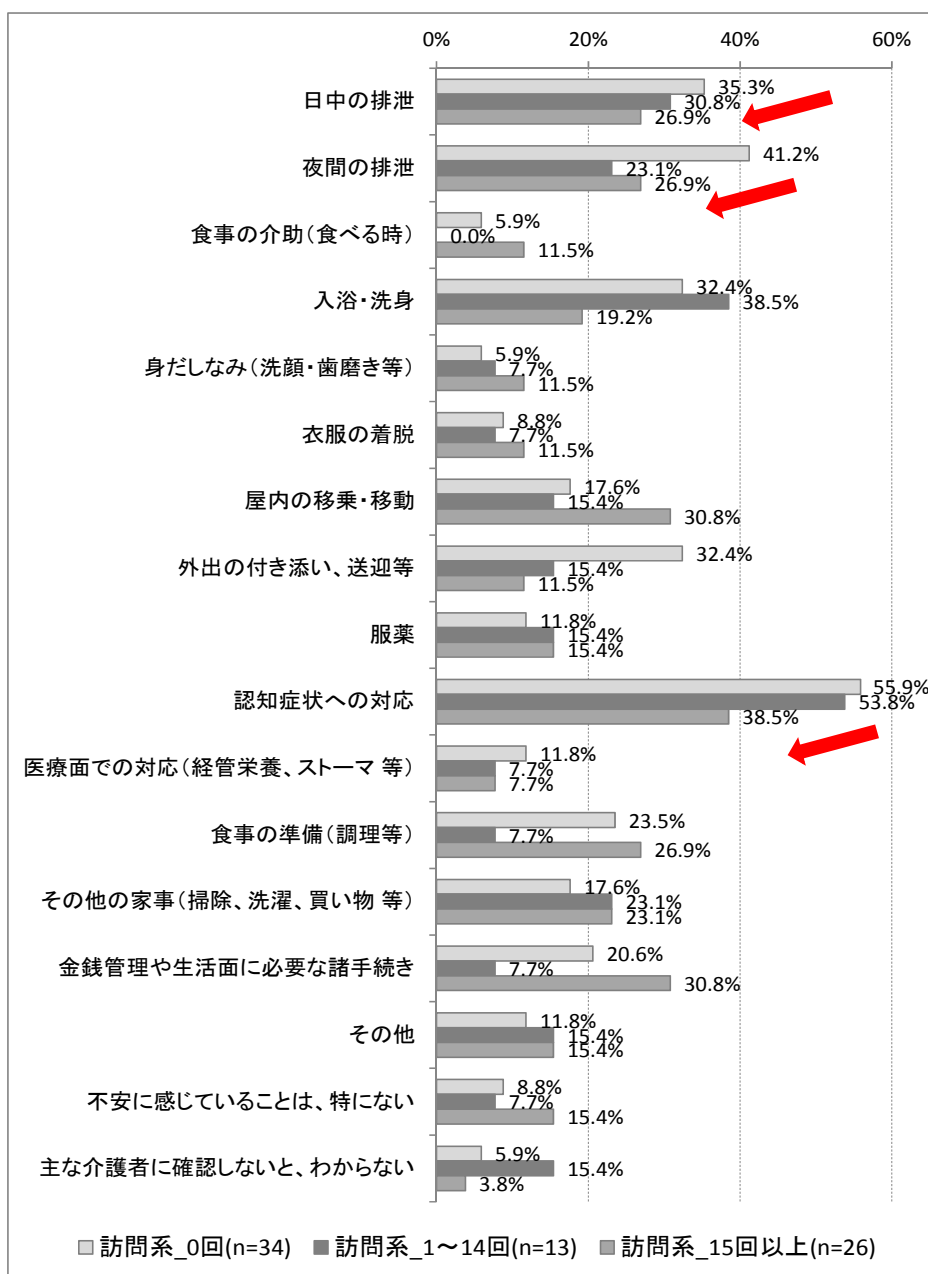


○訪問系サービスの利用回数の増加に伴い、主な介護者の

「認知症状への対応」、「日中の排泄」、「夜間の排泄」の不安が軽減  
しています。

⇒要介護者の在宅生活を継続していくためには、訪問系サービスの利用回数  
を増やしていくことが効果的であると考えられます。

■サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）（図表 1-24）（n=73）



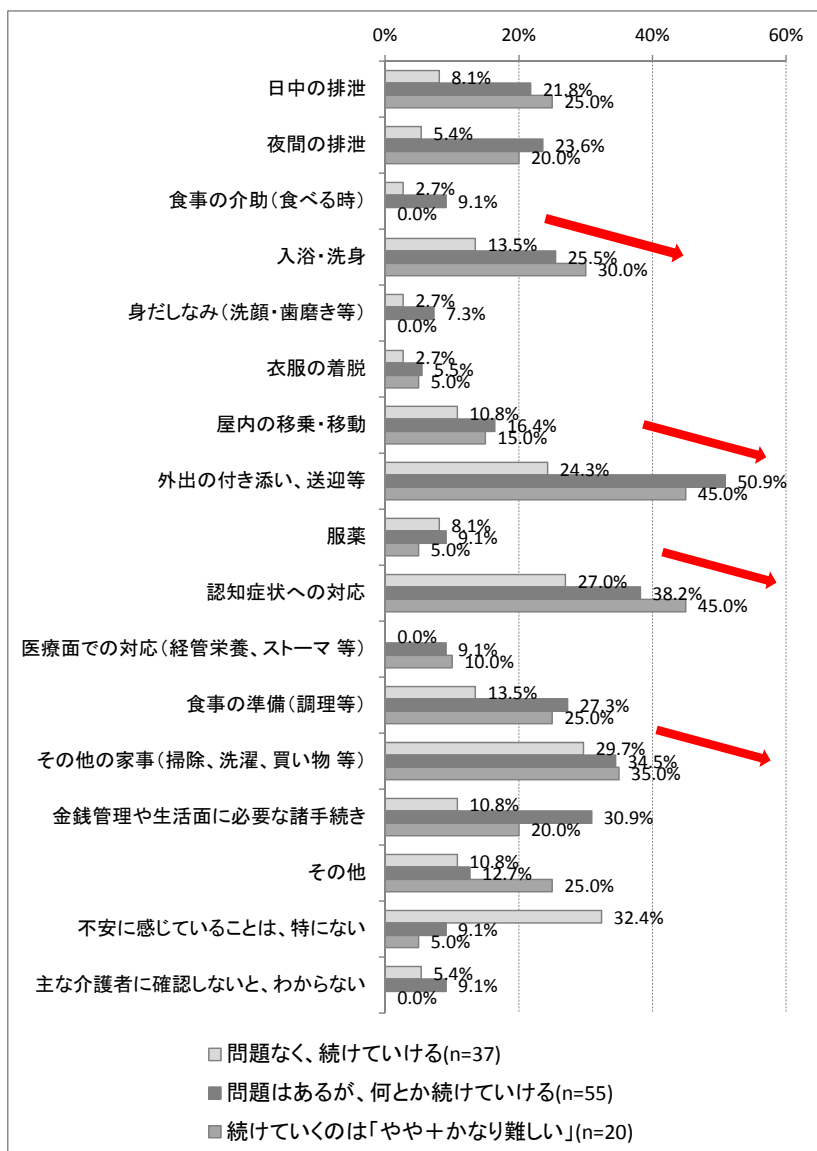
## 2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

○就労継続を続けていくのが困難（図表 2-15 中、続けていくのは「やや+かなり難しい」）と考えている主な介護者は、

「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、  
「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」に不安を感じています。

⇒仕事と介護の両立を継続させるためには、これらの介護の不安を軽減していくことが重要です。また、介護者の多様な就労状況に合わせた訪問系サービスや通所系サービスのほか、これらを組み合わせた包括的サービスを活用することが重要です。

■就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）（図表 2-15）  
(n=112)



○就労継続が可能（図表 2-24 中、問題なく、続けている）と考える主な介護者は、職場において働き方の調整を

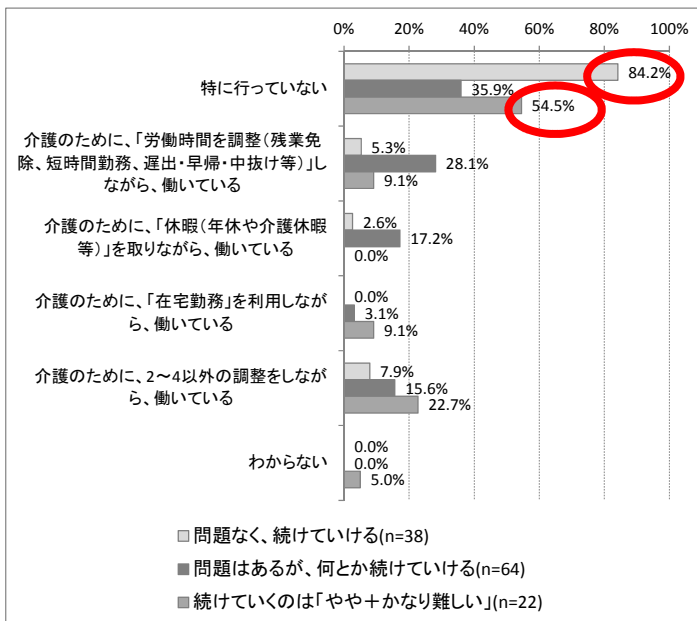
「特に行っていない」割合は、要支援 1～要介護 1（図表 A）の方が全体（図表 2-24）より高くなっています。

○就労を続けていくのは困難（図表 2-24 中、続けていくのは「やや＋かなり難しい」）と考えている主な介護者は、職場において働き方の調整を「特に行っていない」割合が高くなっています。

⇒仕事と介護の両立を継続させるためには、職場において、労働時間の調整や介護休暇の取得など、介護の状況に応じて必要な制度が必要な期間、利用できることが重要です。

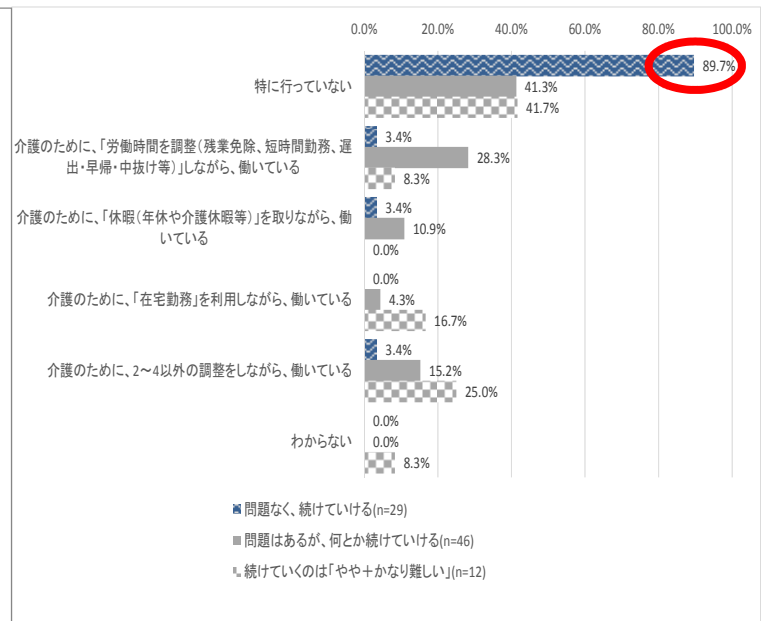
■【全体】就労継続見込み別・介護のための働き方の調整

（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）（図表 2-24）（n=124）



■【要支援 1～要介護 1】就労継続見込み別・介護のための働き方の調整

（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）（図表 A）（n=87）



### 3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

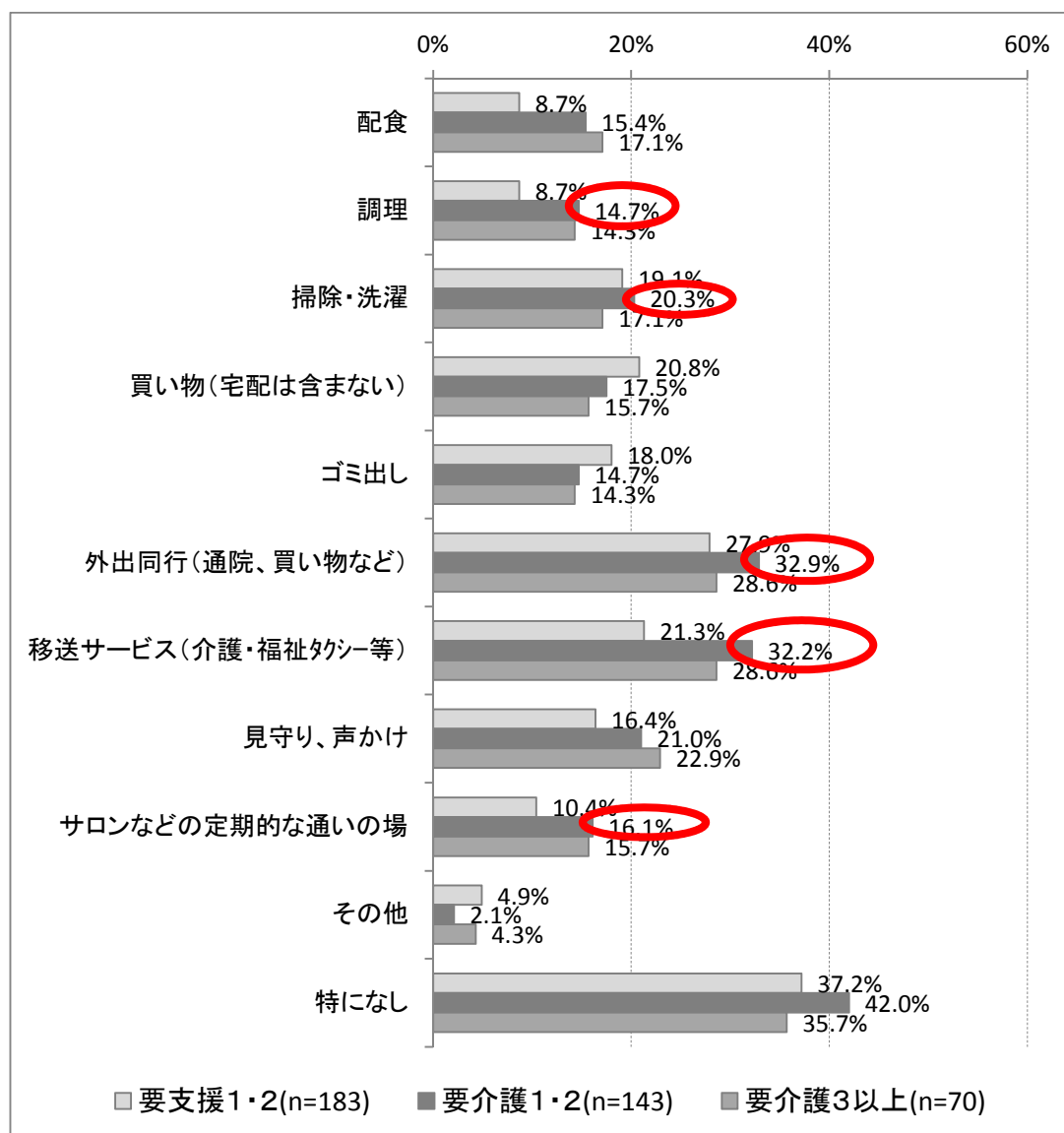
○「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」は、

特に「要介護1・2」でニーズが高い傾向にあります。

⇒今後重度化する可能性がある「要介護1・2」の方を含めて、中重度の方を対象とした支援・サービスを確保する必要があります。

また、全ての支援・サービスの提供を介護（予防）給付で対応していくことには困難であることが想定されることから、特に軽度の方については、総合事業や保険外の支援・サービスの積極的な利用促進を図り、地域全体として、全ての要介護者への対応を可能とする支援・サービス提供体制の構築を進めていくことが重要です。

■要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（図表 3-9）（n=396）





#### 4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

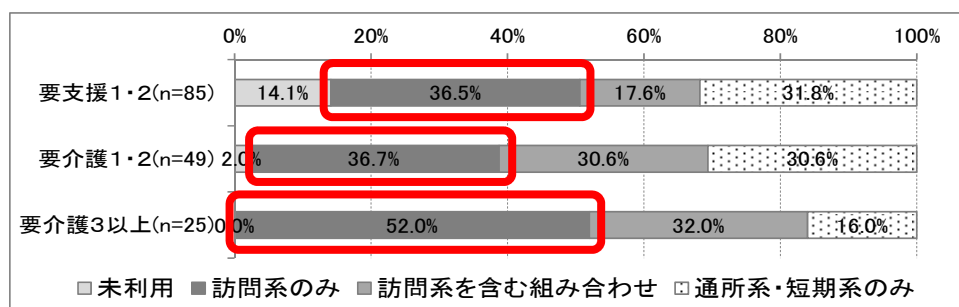
○要介護度の重度化に伴い、「単身世帯」は「訪問系のみ」の利用が増加しています。

⇒中重度の単身世帯の方の在宅療養生活を支えていくため、訪問系を軸としたサービス利用の増加に備え、訪問系の支援・サービス資源の整備や、「訪問介護・看護の包括的サービス拠点」として検討する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の整備などを進めていくことが考えられます。

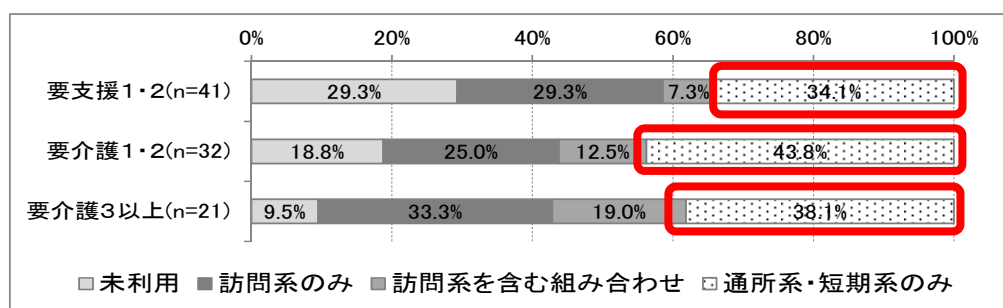
○「夫婦のみの世帯」「その他世帯」は「通所系・短期系」の利用が高い

⇒同居の家族がいる世帯では、家族等の介護者へのレスパイトケアの必要性が高いことから、「通所系」や「短期系」を含む利用が多くなっていると考えられます。夫婦のみ世帯・その他世帯の在宅療養生活を支えていくため、「通いを中心とした包括的サービス拠点」として検討する「小規模多機能型居宅介護（もしくは看護小規模多機能型居宅介護）」の整備を進めていくことが考えられます。

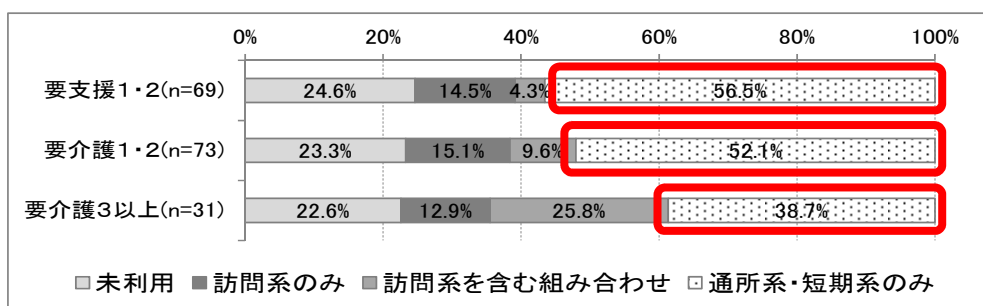
■要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）（図表 4-7）（n=159）



■要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）（図表 4-8）（n=94）



■要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）（図表 4-9）（n=173）



○要介護3以上の「夫婦のみ世帯」と「その他世帯」では、

「施設等を検討していない」割合が高くなっています。

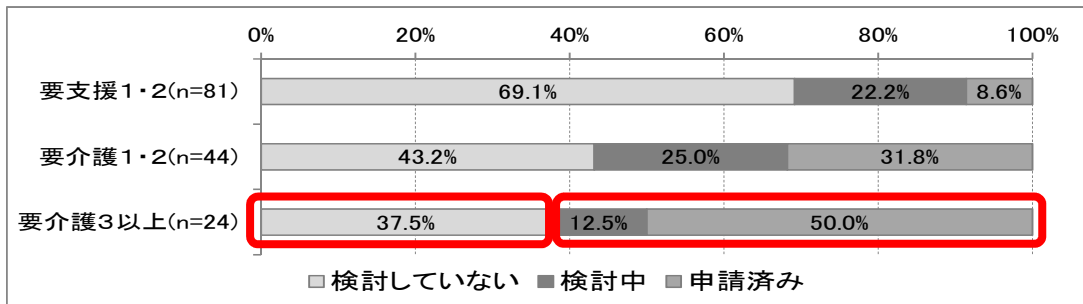
⇒「夫婦のみ世帯」と「その他世帯」では「単身世帯」に比べ、在宅生活の継続に向けた希望が高い傾向にあり、中重度の要介護者については、家族等の介護者の負担が過大となることも懸念されることから、必要に応じて要介護者とその家族等への支援が必要であると考えられます。

○単身世帯では、

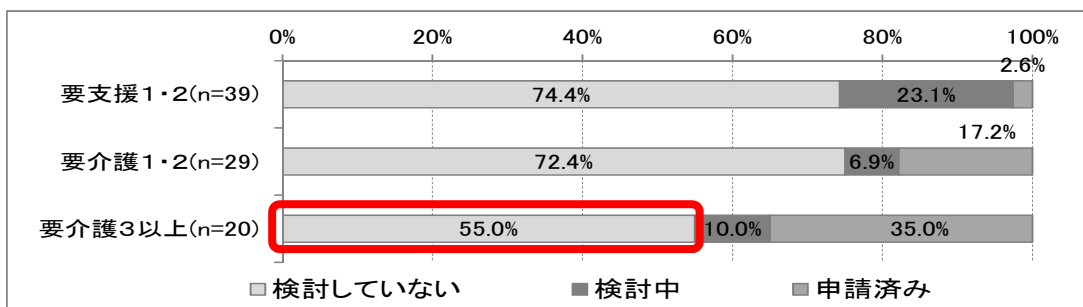
施設等を「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

⇒今後、訪問系を軸としたサービスでは対応が困難となる方の増加に備え、地域密着型サービスの施設等の整備を進めることにより、在宅での生活が困難な中重度の要介護高齢者を支えていくことも考えられます。

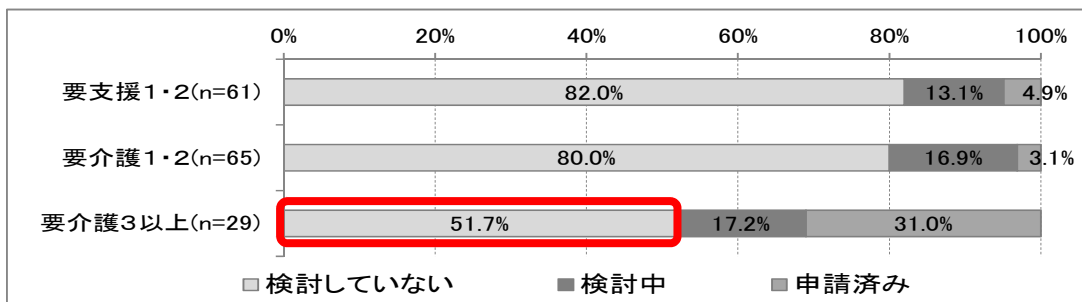
■要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）（図表 4-14）（n=149）



■要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）（図表 4-15）（n=88）



■要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）（図表 4-16）（n=155）



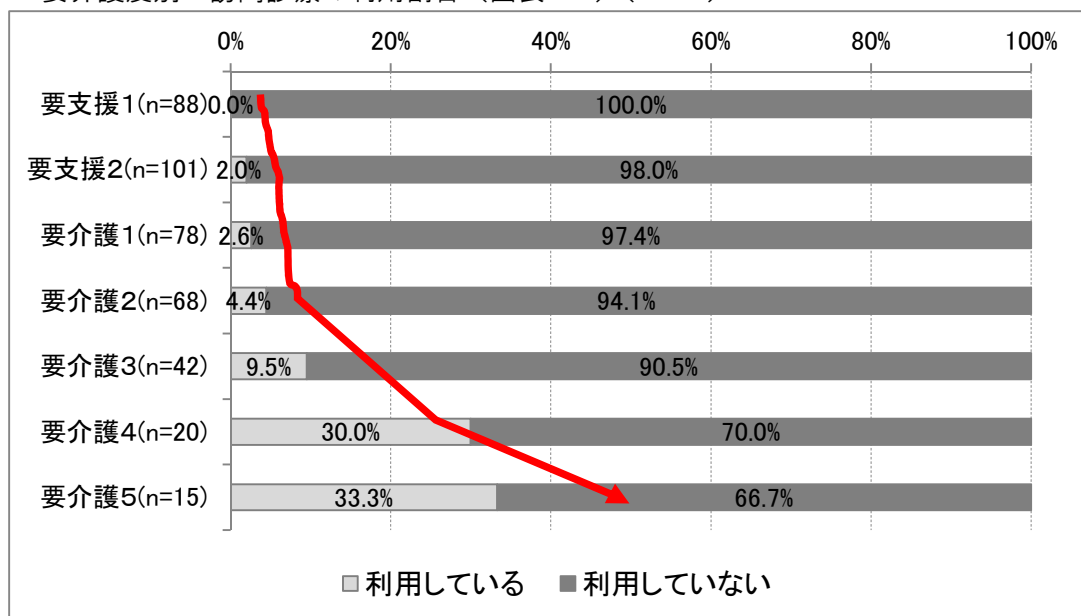
## 5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

○要介護度の重度化に伴い、

「訪問診療」の利用割合が増加しています。

⇒ 今後は、中重度の要介護者の大幅な増加が見込まれることから、それに伴い増加することが予想される「介護と医療の両方のニーズを持つ在宅療養者」について、適切なサービス提供体制を確保していくことが重要です。

■ 要介護度別・訪問診療の利用割合（図表 5-6）（n=412）



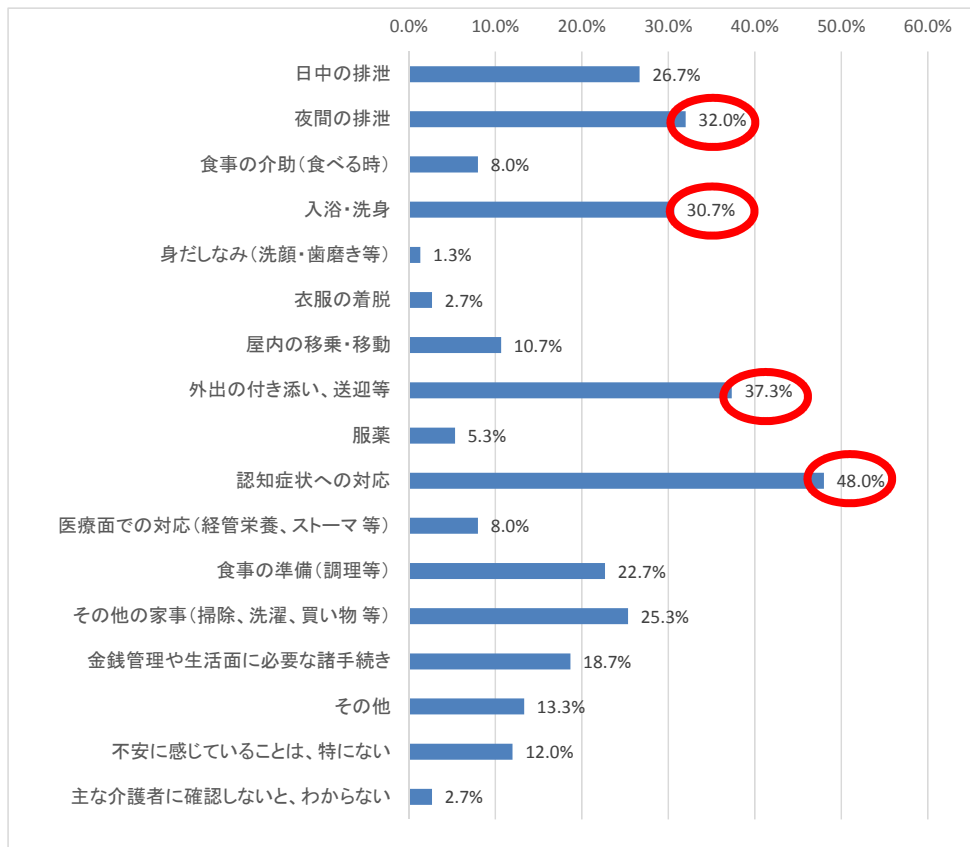
## 6 経済的困窮世帯の現状について

経済的に困窮している可能性が高い世帯では、

「認知症状への対応」、「外出の付き添い、送迎等」、「夜間の排泄」、  
「入浴・洗身」に不安を感じています。

⇒これらの介護の不安を軽減していくことが重要です。

■経済的困窮の可能性が高い世帯の主な介護者が不安を感じる介護（図表 6-1）（n=75）



### 【市独自項目等による分析】

#### (1) 目的

平成28年度第2回高齢者福祉専門分科会におけるご意見を踏まえ、経済的に困窮している世帯において、介護中心の生活により、介護事件に発展する場合もあることから、当該世帯の現状を把握するもの。

#### (2) 経済的に困窮している可能性の高い世帯の抽出条件とその世帯数について

在宅介護実態調査票中の設問において下記①から③全てに該当した方は、596件の回答の内、75件(12.6%)となっている。

- ① A票「問3 主な介護者の方はどなたですか」の設問で「2. 子」と回答した方
- ② B票「【主な介護者はどちらにお住まいですか】」の設問で「1. 同居」と回答した方
- ③ B票「問1 主な介護者の勤務形態について、ご回答ください」の設問で「3. 働いていない」と回答した方